



## （河津川における豪雨被害と治水の沿革）

- 河津川の過去の河川改修工事は、昭和33年9月の狩野川台風や昭和50年10月洪水の災害復旧のため、昭和34年～昭和50年にわたって実施されました。
- 現在の河道形状となった昭和51年以降で、浸水した家屋数が最も多かった豪雨は、昭和51年7月豪雨の308棟(床上86棟、床下222棟)、次に平成3年9月豪雨の227棟(床上101棟、床下126棟)であり、床上浸水の家屋数が最も多い豪雨でした。
- 今年の9月8日から9日かけて上陸した台風15号では河津町において2棟の床下浸水が発生しました。

河津川流域での主な豪雨被害

年月日	名称	河川名	水害原因	雨量			被害の内容		
				1時間 (mm)	2時間 (mm)	24時間 (mm)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)	浸水面積 (ha)
昭和33年(1958) 9月26日	狩野川台風	河津川	溢水	49.1 (1/3)	不明	350 (1/7)	521,715		不明
昭和44年(1969) 6月20～7月14日	梅雨前線豪雨	大鍋川	溢水	37 (1/2以下)	71 (1/2以下)	454 (1/32)	0	35	16
昭和50年(1975) 10月8日	集中豪雨	河津川 河津谷津川	無堤部溢水	38 (1/2以下)	51 (1/2以下)	201 (1/32)	不明	不明	不明
昭和51年(1976) 7月11日～7月12日	豪雨と台風9号	河津川	有堤部溢水	59 (1/7)	98 (1/7)	458 (1/34)	86	222	24
昭和63年(1988) 7月14日～7月16日	梅雨前線豪雨	河津川	内水	59 (1/7)	91 (1/5)	179 (1/2以下)	0	13	15
平成3年(1991) 9月10日～9月11日	集中豪雨	河津川 河津谷津川 大鍋川	内水 無堤部溢水	108 (1/100以下)	140 (1/90)	406.5 (1/15)	101	126	1497
平成5年(1993) 11月10日～11月15日	豪雨及び風浪	無名川	無堤部溢水	43 (1/2以下)	80 (1/3)	191 (1/2以下)	2	59	62
令和元年(2019) 9月8日～9月9日	台風15号	河津川	内水	82 (1/99)	132 (1/50)	387 (1/12)	0	2	不明

# 令和元年9月8～9日の台風15号について

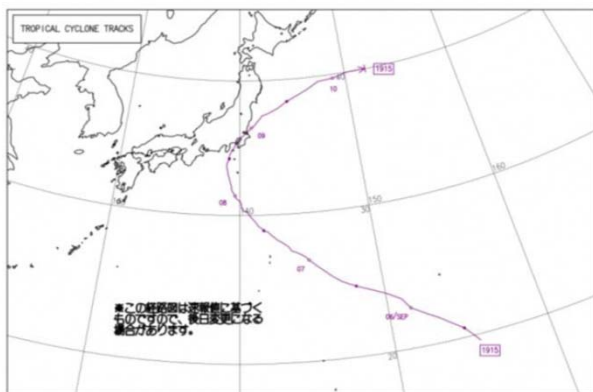


## (台風15号とは)

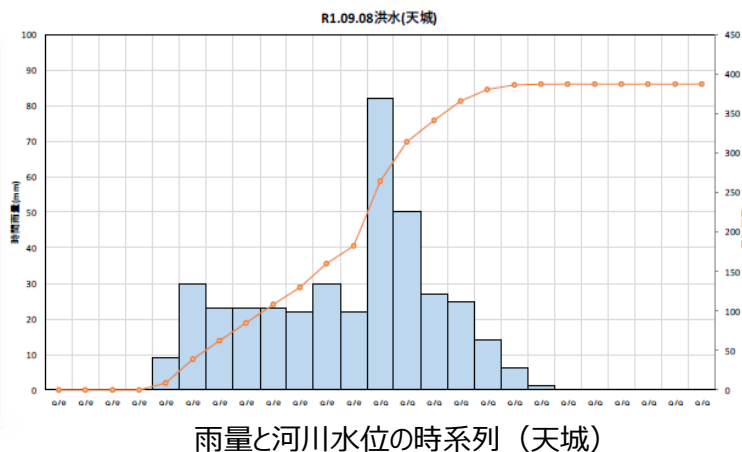
9月5日15時に南鳥島近海で発生し、小笠原近海を北西に進みながら徐々に発達し、中心気圧955ha・最大風速45m/sの[非常に強い]勢力のまま三浦半島に接近、9日3時前に三浦半島を通過した。台風の中心は東京湾に抜けて北西に進み、9日5時前には千葉県千葉市に上陸したが上陸時の勢力は関東としては過去最強クラスであった。

## (河津町での洪水は?)

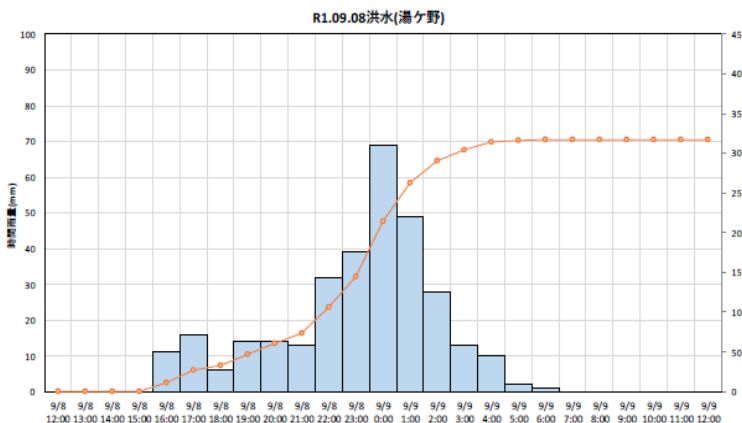
河津川では、8日16時から強い雨が降り、河津川流域の上流域に位置する天城観測所(県)では、8日24時に1時間で82mmの猛烈な雨が降り、24時間の最大雨量は387mmを記録した。



台風15号の経路図



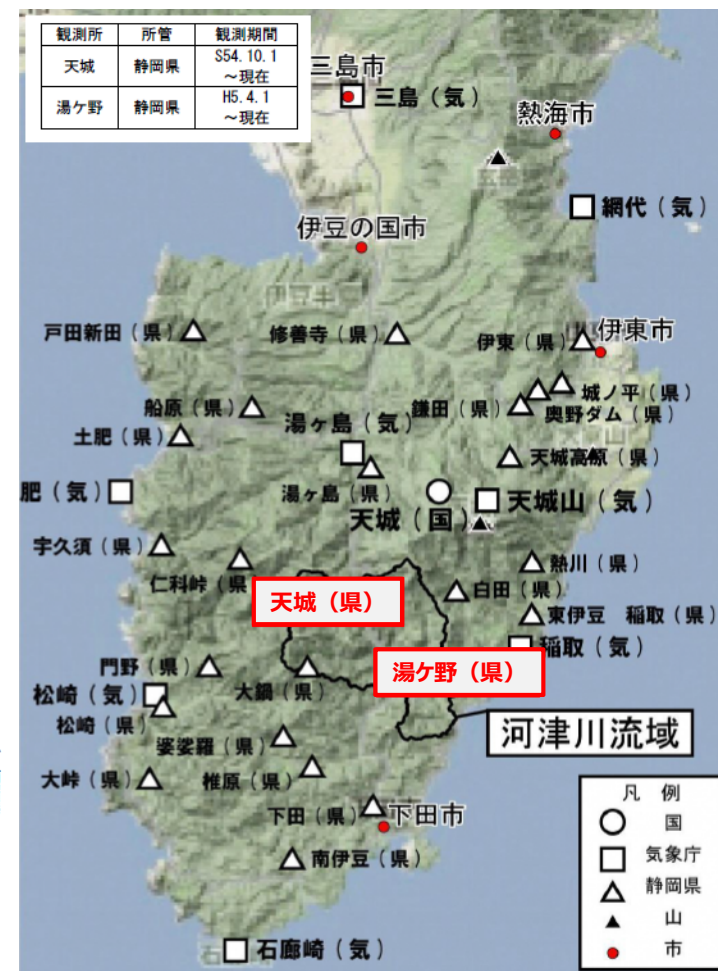
雨量と河川水位の時系列 (天城)



雨量と河川水位の時系列 (湯ヶ野)

観測所	時間	雨量 (mm)	確率
天城	1時間最大	82	1/99
	2時間最大	132	1/50
	3時間最大	159	1/28
	24時間最大	387	1/12
湯ヶ野	1時間最大	69	1/22
	2時間最大	118	1/22
	3時間最大	157	1/25
	24時間最大	317	1/5

台風15号の雨量 (天城、湯ヶ野)

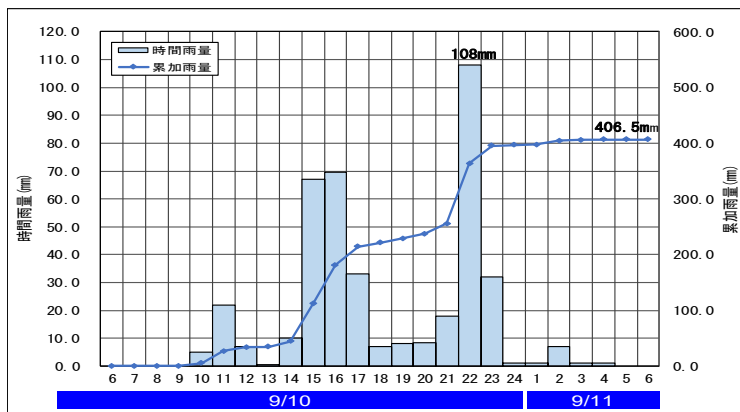


伊豆半島の雨量観測所

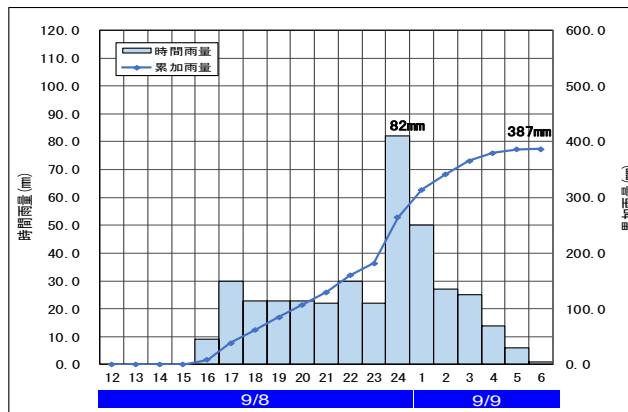
# 令和元年台風15号、平成3年豪雨の比較と、河川改修による治水効果



- 近年において最大クラスの雨量を記録したのは平成3年9月豪雨浸水した家屋数(全体227棟、床上101棟、床下126棟)であり、1時間雨量は108mm、2時間雨量で140mmでした。
- 今年の9月に発生した台風15号の雨量は既往最大クラスの平成3年9月豪雨と同じ規模であり、1時間雨量は82mm、2時間雨量は132mmでした。



雨量と河川水位の時系列 (平成3年)



雨量と河川水位の時系列 (令和元年台風15号)



## 【平成3年豪雨の災害の状況】



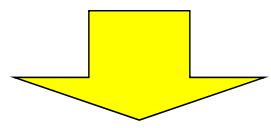
流木と岩で埋まる家屋(谷津川)



家屋の中に入り込む大水(小鍋川)

- 平成3年9月豪雨では、河津川、河津谷津川、大鍋川、小鍋川等の多くの河川から溢水し、227棟の家屋が浸水。
- 令和元年9月豪雨では、平成3年と同等の雨が降りましたが、河川からの溢水は無く、家屋の浸水被害は2棟の床下浸水にとどまった。

平成3年と同等の洪水を受けた今回の水害では、平成3年のような河川からの越水や浸水被害は発生していない。



有事の際にも、長年の治水効果が発揮されるよう、「安全・安心な暮らし」を目指した治水事業を推進していきます！